

事業目的

15歳以上の猫の81%が慢性腎臓病との報告があり、高齢の猫の死因の第1位は慢性腎臓病とも報告されている。D-アミノ酸が有用なバイオマーカーとされながら、その検出の難しさから社会実装された製品・サービスの事例は今のところない。

今回、NEP2024躍進コースにおいて、猫の尿中のD-アミノ酸を測ることで猫の腎疾患をターゲットとする検査技術として有効性を検証し、社会実装を目指す。本プロジェクトを通してD-アミノ酸の認知度を上げ、新しい「D-アミノ酸」市場の創出を目指す。

事業内容

当社で開発したネコの腎機能検査法の有効性（社会実装可能であること）を実証していく。具体的には自宅で採取した猫の尿を郵送してもらい当社で検査を実施して検査結果を通知する郵送検査ビジネスである。研究開発事項として自社の検査技術の効率化を目指し、顧客の受け入れ可能な金額で実施できるサービス確立する。また並行してクラウドファンディングを実施し、本ビジネスの需要の強さの確認と顧客ニーズの詳細把握に努め、国内に留まらず海外に向けてのビジネスの戦略も策定する。

事業成果

- ・検査のコストダウン（目標達成率75%）
- ・腎疾患の診察結果と紐づいた検体（猫尿）の測定（目標達成率166%）
- ・クラウドファンディングの実施（目標金額達成率194% - 2月4日現在 - ）

事業者情報

Dアミノ酸ラボ株式会社
（名古屋大学発スタートアップ）

所在地：愛知県春日井市
設立年：2020年7月
HP：<https://d-aminoacidlabo>



概要図等

